



福祉人材センター × 介護福祉士会

# ふくし・かいご通信

2022  
11月  
No. 14



発行：社会福祉法人北海道社会福祉協議会  
北海道福祉人材センター ☎011-272-6662

北海道福祉人材センター  
HPリンク

北海道福祉人材センターでは、一般社団法人北海道介護福祉士会の協力を得て、福祉・介護に関する基礎知識や日常に役立つ情報を定期的に発行しています。

## 今月は… 私のかいごストーリー

一般社団法人北海道介護福祉士会 札幌支部事務局 中里 政明 氏  
(社会福祉法人神愛園 特別養護老人ホーム神愛園手稲 介護支援部 リーダー)



### エピソード1 「介護の仕事をするきっかけ」

私の祖父母は遠方で生活しています。子供の頃は何度も会いに行くことが出来なかったので1年に1度でも会えるのがとても楽しみだったことを覚えています。遊びに行くと優しい笑顔で声を掛けてくれ、私たち家族の寝る場所や休む場所をしっかりと用意して出迎えてくれました。親戚同士の会話では、その土地の方言が飛び交う中、両親も普段使わない方言を交えながら昔話で盛り上がり、笑いあう様子を眺めていると自然と方言の分からない子供だった私も、そこに楽しさと居心地の良さを感じたことを思い出します。

高校生になった私は、将来について自分は何をしたいのかを考えた時、子供の頃感じた祖父母や親戚の人たちの温かさ、居心地の良さを思い出し、自分を優しく出迎えてくれた祖父母たちの様に、今度は自分が高齢者の役に立つことが出来ないか、と考えたことが介護の道を目指したきっかけでした。



### エピソード2 「介護の仕事始めて」

通信教育で介護の勉強をはじめ、国家試験で介護福祉士の資格を取得しました。

はじめは、札幌市内にある特別養護老人ホーム（以下、「特養」）でボランティア活動を行いました。その後、パート職を経て、現在は正職員として働いています。当初の施設は1部屋4人の多床室でした。居室内ではご利用者同士やご利用者と職員との談笑が聞こえていたのを覚えています。当時の私は、何度も諸先輩よりご利用者との接し方、食事・排泄・入浴の介助の方法を教えてください



頂くほど何か一つ仕事が抜けていたことを覚えています。介護の仕事始めて、気持ちだけが先走り、焦りや失敗を繰り返しご利用者や周りの職員に迷惑をかけていたことが最初の大きな壁でした。諸先輩の介護に対する姿勢が、想像以上にご利用者の生活を考えたケアを実践していて、役に立ちたいというだけの気持ちで始めた自分には、足りない事だらけでした。「常に、ご利用者の気持ちに寄り添った対応を心掛け、焦らず、分からないこ

とは聞く。メモに残す。」当初の自分に足りないことの助言や勉強を、諸先輩から教えて頂いた事を思い出します。

### エピソード3 「ご利用者との関わり」

特養に勤務して様々なご利用者と出会いました。

出会いの中では、入所当初より不安そうな表情をされている女性がいました。その方は日が経っても施設に馴染めず、眉間にしわを寄せて「だれかー。これどうするの？これでいいの？」と周りの職員に声を掛けていました。その都度、その時の不安を取り除けるように対応をしてきましたが、「さびしい」という言葉を何度か漏らしていたのを聞いたので、訪室して話しかける様にしました。すると



日に日に眉間のしわが消えるようになり、表情が穏やかになっていきました。また、いつも長い髪を整髪する時に「髪きれいですね」「すてきですね」と声を掛けると「ふふ。あなた上手だね」と笑顔をこぼすようになり、私のことを名前と呼んで頂けるようにもなりました。

入所当初よりも、職員と女性の間に関係性が深まったことを実感し、その方の笑顔を見ることができたことが何よりも介護の仕事を通してやりがいを感じました。

### エピソード4 「最後に」

私のように介護の仕事をはじめのきっかけや、仕事上の失敗は様々ですが、「人」と関わる仕事である介護の仕事は、ご利用者からの大切な人生観を聞く事ができ、その方の生活に寄り添えるということは、この仕事ならではの特権かと思っております。

そして、その方にとっての生活を継続する上で私たちは今後も知識や技術を学び続けたいと思います。



次回は、「介護のワンポイント」です。



#### 一般社団法人北海道介護福祉士会

介護福祉士の職業倫理の向上、介護に関する知識技術・経験を深めて資質向上を図り、北海道の福祉の推進に寄与している団体です。 ★ 新入会員募集中 ★

TEL&FAX 011-222-5200



北海道介護福祉士会  
HPリンク